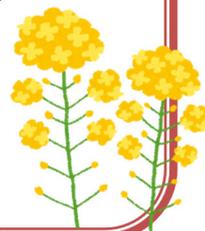


あじさい 175号

もくじ

- 定例会発
2, 3月の定例会より
- 育成会 ing
総会予告など
- よかよか隊が行く！
- お知らせ



新任職員研修会が実施されました

3月20日、夢工房みどりで令和6年度の新任職員研修会が実施されました。今年は令和6年度採用の11名の職員が出席しました。育成会の沿革や職員行動規範の説明などとともに、よかよか隊の疑似体験も実施し、知的障害のある人の気持ちも考えていただきました。



声の聞き分けが難しい聴覚が過敏な人が、どんな風に聞こえるのか、4人が同時に話すことで体験してもらいました。



長崎市育成会では本人向けの余暇活動としてスマイルくらぶを実施しています。(8ページお知らせ参照)
毎月第4日曜は事業所のマイクロバスを借りて遠出をしています。調理やフラワーアレンジ、書道、スポーツ、カラオケなど楽しい活動がいっぱいです。どうぞご参加ください。

2月、3月は島原城に出かけました。梅もきれいでした。



定例会発

「ケアホーム陽香里」ってどんなところ？

長崎市育成会では情報提供や会員同士の交流、会員のニーズを知る場として毎月定例会を開催しています。今回は2月、3月の定例会の様子をお知らせします。

昨年「グループホームってどんなところ？」というテーマで企画したところ、いつも以上に多くの方にお集まりいただきました。今度はケアホームについて知りたいというお声もいただきましたので、2月はケアホーム陽香里の山田所長に来ていただきお話しいただきました。

ケアホームというものの実際はグループホーム（共同生活援助）と同じサービスです。当会では介護度の高い方が多くいらっしゃるホームをケアホーム（以下CH）と呼んでおり、現在CH三京、CHさくら、CH陽香里の3棟があります。

CH陽香里は※日中サービス支援型・福祉型で職員を24時間配置（夜間帯は2～3名）し、食事・入浴・排泄など日常のことから通院同行や金銭管理など様々な支援をしています。現在34歳から58歳までの10名（男性6名・女性4名）が入居されており、短期入所の居室も4部屋あります。全個室エアコンと防災カーテンは備え付けられており、2階建てのため、エレベーターも設置されています。1階2階それぞれにトイレ3か所（内多目的トイレが各階に1）、浴室も1つずつ（1Fはリフト付き）あります。

※グループホームには3つのタイプがある

- ①他事業所からヘルパーが来て支援をする外部サービス利用型
 - ②自分の事業所の職員が支援をする介護サービス包括型
 - ③自分の事業所の職員が24時間支援をする日中サービス支援型
- 育成会の場合CH陽香里以外は全て介護サービス包括型

育成会ケアホームの定員と主な必要経費

	場所	定員	短期入所	家賃	水道光熱費	日用品費	食費(1食)
CH三京	三京町	10	4	42,000円	15,000円	3,000円	朝180円
CHさくら		8	6	43,000円(トイレ付)			昼440円
CH陽香里	香焼町	10	4	45,000円	14,000円	4,000円	夕440円

※家賃補助（10,000円/月）の制度があります

※金銭管理を希望される方は別途3,000円/月

短期入所(ショートステイ)用の居室

エアコンやテレビ、ベッドは備え付けられています。

1泊2日の場合の経費:水道光熱費450円、日用品費150円、食費は上記の入居者と同じ。シーツ類貸し出しの場合はクリーニング代として1,000円、預かり金手数料200円(希望した場合)



画像を使いながら説明される山田所長



CH陽香里の外観
香焼町の国道沿いにあり、すぐ近くにコンビニもあります



山田所長はたくさんの写真を準備してくださっており、画像を見ながら分かりやすく説明してくださいました。承諾してくださった利用者さんの居室の写真も見せていただきましたが、ベッドだったりお布団だったり、椅子があったりと、それぞれ必要なものや好みも異なり、入居者にとってはきっと安心できるお城なんだろうなと思いました。休日は近くのコンビニへ職員さんとマンツーマンで順番に買い物に出かけたり、ホーム内でカラオケやレクリエーションを楽しんだり、制作をしたり陽香里工房の車両を借りて外出したりしているそうです。



カラオケのようす



サンタさんも登場したクリスマス会

また、ホームのお楽しみ行事として誕生会や外食、初詣や夏祭り、クリスマス会なども企画実施されており、香焼文化フェスティバルやイルミネーション点灯式など地域行事にも積極的に参加し、地域との繋がりを築いておられます。どこの事業所も人手不足で、CH 陽香里も例外ではありません。陽香里工房をはじめ育成会事業所の職員

さんにお手伝いいただいたり、所長自ら率先して支援に回られることも多いようです。(パートさんも募集中です。興味のある方はCH 陽香里まで)



プレゼントに満面の笑み

山田所長に Q&A

Q：夕方、帰所後の自由時間は、自分で過ごすのが難しい方も多いと思うが、どうやって過ごしている？

A：そこは課題でもあるが、短時間でもいいのでタオルたたみなどできることをしてもらったり、作品展に出すための制作を夕食後に取り組んでもらうなどしている。

Q：強度行動障害の方も多く、トラブルになることは？

A：ご本人の感覚の問題や人との相性もあるので、トラブルが起きることはある。席や場所を離したり、時間帯をずらすなど工夫して関心が他に向くように働きかけ掛け、気持ちの切り替えができる支援を心がけている。

Q：本人も高齢化しているが、家族も高齢化しており、通院など対応できない。突発的なケガや病気などの通院は誰がしてくれる？受診の判断はどうしている？

A：定期的な病院受診の介助は事前に予定が組めるのでホームの職員で行っている。緊急時は当然救急搬送を想定しているが、突発的な受診については、その時の職員体制などもありすぐに対応できない場合もある。先ずはご本人の様子を確認しながら必要なタイミングで受診できるよう、日中事業所とも連携しながら行うようにしている。

(※ショートステイ利用者についてはそれぞれのご家庭での対応となります)

同じサービスと言ってもやはりグループホームとケアホームでは支援に違いがあることがよくわかりました。入居者のお母さまも参加され、入居者のご家族の視点でのお話も伺うことができました。

定例会発

「成年後見のリアル」とは？

3月の定例会は『成年後見のリアルとは？～親と専門職が語るギャップと実情～』という行政書士事務所の代表と「親なきあと相談室」相談員で障害児の親でもあるお父様が語り合う動画を視聴し話し合いました。

動画では「後見人制度は業務の実績のほうは話題に上がることはないが、悪い噂やニュースは話題になり親の耳に入ってくるせいか、できれば使いたくないと思っている親が多い。また親がわが子のためにお金を使ってほしいと思っても、本人の財産を守ることが大事だからと聞き入れてもらえないこともある。」という親の立場からの意見に、「後見人という制度は本人のための制度。まわりのことまで考えていないし考える必要もない。」と返す行政書士さん。後見人がつくるとわが子のお金であっても、親が自由に出し入れすることはできません。親としてはわが子が幸せに、快適に暮らしてほしいという思いから「これを買ってほしい、やらせてほしい」という要求を聞き入れてもらえないと、後見人への印象も悪くなるかもしれません。逆に後見人としては本人の財産が減らないようにという視点から、親の要望を断ることもあります。「後見人はこれはしてよい、これはしてはいけないという決まりはなく、それを後見人の判断に任せてしまっている現状も問題だ」と話されていました。また「後見人が誰になるか分からない、始まってみないと後見人がどんな判断をするか分からない」ということを「後見人ガチャ」という表現をされたお父様に対し、「(後見人側から言うと)親ガチャもあります」と言われ、定例会の参加者も苦笑い。「親の思いに寄り添いすぎない、客観的な立場や視点に立った人が相応しいのでは」と言われていました。



親の立場からは「後見人がどんな人になるか分からず、途中で変更もできない、報酬のことや後見人を付けると、死ぬまでやめられない」など使いづらい理由もあげられながら、最後には「わが子にどんな制度があり、どんな選択肢があるのか、たくさん情報に惑わされず、正しい知識を身につけたうえで判断することが大切だ」と結ばれていました。

動画終了後、「細かいことを知りたい時はどこに聞けばいいの？」という声に対し、「相談支援事業所や社協さんの成年後見支援センターに聞いたらいいいのでは」という回答や「財産はないけど後見人つけられる？」「市民後見人さんは財産の上限が500万までとなっているよ」など、会員さん同士での情報交換もありました。またごきょうだいから「この先どうするつもり？」と聞かれ、後見人制度の話をしたら少し安心したようだったというお話もありました。「市民後見人の講座を受ければ詳しい情報が得られるし相談支援事業所としっかりつながっておくことが大事」と話される方もおられ、ざっくばらんに情報共有や意見交換ができた3月の定例会でした。

後見人をつけるタイミングは？

「迷っている(ほかに選択肢がある)間、守ってくれる人がいる間は必要ない。もう後見人しかなくなったときがそのタイミング。」と行政書士さんは話されていました。

<育成会 ING>

令和7年度総会について

長崎市手をつなぐ育成会の定期総会は「会員への情報提供の場」「研修の場」「報告の場」として開催しております。令和7年度の定期総会は以下の日にちで実施予定です。内容につきましては「親なきあとと意思決定」に関することで情報提供や意見交換ができるように計画中です。詳しくは次回176号でお知らせします。皆様のご参加をお待ちしております。

と き：令和7年7月5日（土曜日）13：30～15：30

ところ：長崎県総合福祉センター5F 大ホール

親がいる間は意思決定のサポートができますが、親がいなくなったらどうやって本人の意思を確認していけばいいのでしょうか。考えてみましょう。

「グループホームなめし」閉所

「グループホーム六じぞう（現グループホーム青山）」、「グループホーム京泊」に続き、平成16年4月に育成会3棟目として開所した「グループホームなめし」が、建物の老朽化のため令和7年3月末をもって閉所となります。移転も検討されましたが、適した物件が見つからず20年の歴史に幕を閉じることとなりました。入居者の方はすでに当法人内の別のホームや当法人以外のホームに転居され、新しい生活を始められています。

育成会のグループホームはこれで全11棟（うちケアホーム3棟）となります。

育成会費納入のお願い

令和6年度の育成会年会費・賛助会費の納入を受け付けております。まだ納入されていない方は下記の口座にお振込みいただくと助かります。

また、口座引き落としのお手続きをいただければ、毎年6月に自動で引き落としも可能ですので、ご検討ください。

お問合せは育成会啓発事業部

TEL 095-845-5677

十八親和銀行 浦上駅前支店

普通 口座番号 1248638

社会福祉法人 長崎市手をつなぐ育成会
谷 美絵

あじさいの家“芸術祭”が開催



3月21日に第25回あじさいの家芸術祭が開催されました。今年はコロナ禍以来久々の家族を迎えての芸術祭となり、会場は大いに賑わいました。今年も趣向を凝らし、練習を重ねた出し物が披露され、ご家族からも大きな拍手が贈られました。出席された谷理事長からは「本当に毎年、工夫された楽しい内容で、本人さんだけでなく職員の頑張りもすごい！もっとたくさんの人に見てほしい！」と感激されていました。

絵・画写真コンテストのお知らせ

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）では障害者雇用月間（9/1～9/30）の啓発活動の一環として「絵画コンテスト」「写真コンテスト」を主催しています。令和7年度の作品募集の案内をいただきましたのでチャレンジしてみられませんか？

	絵画コンテスト「働く姿～今そして未来～」	写真コンテスト「職場で輝く障害者～今その瞬間～」
募集作品	働くことまたは仕事に関係のある内容	障害のある方が働いている姿を撮影したもの
応募資格	障害のある方（プロ以外であること）	障害の有無は不問（プロ以外であること）
応募部門	小学生の部、中学生の部、高校・一般の部	部門の別はなし
サイズ	B3判(364×515)、四つ切り(382×542) 上記に満たない作品はB3判、四つ切に貼付	A4サイズの写真用印画紙または写真用光沢紙 にカラープリントしたもの

※ 応募期間は令和7年3月1日（金）から6月17日（月）

詳しいことは啓発事業部までお問い合わせください。 TEL 095-845-5677

メール登録をお願いします

育成会啓発事業部ではメール登録いただいた会員様には、定例会や研修会、行事のご案内、全国手をつなぐ育成会からの情報やウェブ研修のお知らせなどをお送りしています。またご本人向けの余暇活動スマイルくらぶのご案内も併せてお送りしています。

ご登録がお済みでない方はこの機会にぜひお願いします。登録したいけれどやり方がよく分からないという方にはお手伝いしますので、お気軽に大橋にお越しください。

timecare@nagasaki-shi-ikuseikai.jp

お問合せは育成会啓発事業部まで TEL095-845-5677

よかよか隊が行く！



長崎市手をつなぐ育成会では知的障害や発達障害のある人の生きづらさや障害特性などを知ってもらうためにキャラバン隊「長崎よかよか隊」を組織し平成30年の夏から活動しています。

2月16日(日)、育成会の会員さんに縁を繋いでいただき、長崎市立北陽小学校区の子どもたちやそのご家族に向けて開催される北陽小学校区コミュニティ連絡協議会様主催の「北陽ホクホクまつり」に出動しました！

今回はイベントに集まった人を呼び止めてブースで疑似体験をしてもらうというこれまでにない試みでした。「誰も来てくれなかったらどうしよう」と不安でいっぱいでしたが、始めてみるとそれぞれのブースがスタンプラリーになっており、スタンプを集めるため子どもたちが次々に来てくれました。小学生向けのプログラムをプリントしてそれを見ながら聞いてもらったり、考えてもらったりしました。高学年や家族の人には「絵に描いてみよう」をやってもらいました。人が多



い時間帯では3人がかりで大忙しでした。終始音楽が流れ人の声でざわざわしている会場では、声を張り上げないと聞こえない状況でしたが、みなさん熱心に耳を傾けてくれました。また、ステージ発表では「集まって下さ〜い！」と会場内の人たちをステージ前に集めるのも一苦労でした。これまでにないやり方で、始まる前は戸惑いや不安もありましたが、始めてみるとアッという間の4時間でした。



3月9日(日)には世界自閉症啓発デーのブルーライトアップのイベントの事前研修にお呼びいただき、東彼川棚町へ出動しました。

はじめにライトアップ用のライト作りということで和紙の折り染めのワークショップがあり、私たちも参加させていただきました。折った和紙を2色のブルーと緑のインクを染み込ませ広げると一つとして同じものがない折り染めが出来上がりました。それをペットボトルに貼ってライトの完成です。折り染めを乾燥させる時間を利用して長崎よかよか隊の研修を受講していただきました。約1時間のプログラムも無事終了し、乾いた和紙をペットボトルの上部を切り落とすものに貼り付け出来上がりです。折り染めの和紙を貼ったペットボトルの中に懐中電灯を灯し、4月2日の世界自閉症啓発デー当日に川棚駅、商店街周辺他に飾りライトアップするとのことでした。実行委員の方は「毎年4月2日は将来的に川棚町中の全家庭がブルーライトアップして頂けるようなればいいし、障害があってもなくても優しく寄り添い住みやすい川棚町になってほしい」と話されていました。障害のある子を持つ親の立場として積極的にこういった啓発活動を町ぐるみで取り組んでいただき、大変勇気づけられました。



おしらせ

社会福祉法人
 長崎市手をつなぐ育成会 広報部
 長崎市大橋町 19-19
 文教カテリーナ1F
 Tel:095-845-5677
 timecare@nagasaki-shi-ikuseikai.jp

フラワーアレンジメント・書道
 フラワーは第2、第4土曜日の10:30、書道は第4土曜日の13:00から実施中です！

4月の定例会
 日時：4月23日(水) 10:00~12:00 「わが子の権利、守ってますか？」
 わが子に愛情を注ぎながらも権利を侵害しやすいのも親だと言われます。一緒に考えましょう。
 5月の定例会は5/16(金)を予定しています。
 生活支援センター会議室(大橋)
 定例会へのお申し込み、お問い合わせは啓発事務局 TEL845-5677 まで

4. 5月の本人活動「スマイルくらぶ」の予定

- 4/6(日)「お花見」
受付終了
- 4/12(土)「ゲーム&フラワーアレンジメント」
9:30~14:30,参加費 800円+実費
※フラワーのみ 10:30~11:30,参加費 500円+実費
- 4/13(日)「パンケーキランチ作り」
受付終了
- 4/20(日)「スタジアムシティ散策」
13:00~15:00,参加費 400円
- 4/26(土)「フラワーアレンジメント&書道」
9:30~14:30,参加費ひとり 1000円+実費
※フラワーのみ 10:30~11:30,参加費 500円+実費
※書道のみ 13:00~14:00,参加費 600円
- 4/27(日)「佐賀太良周辺散策①」
受付終了
- 4/29(火・祝)「風船バレー」
- ★お申し込み、お問い合わせは啓発事務局まで
☎ 095-845-5677
- 5/3(土・祝)「映画」
9:30~14:30,参加費 700円+実費
- 5/4(日)「ハートセンターカラオケ」
9:30~14:30,参加費 700円+実費
- 5/5(月・祝)「子どもの日広島のお好み焼き作り」
9:30~14:30,参加費 700円+実費
- 5/6(火・祝)「障害者スポーツを楽しもう」
9:30~14:30,参加費 700円+実費
※障害者スポーツのみ 10:00~12:00,参加費 400円
- 5/10(土)「ゲーム&フラワーアレンジメント」
9:30~14:30,参加費 800円+実費
※フラワーのみ 10:30~11:30,参加費 500円+実費
- 5/11(日)「母の日デコレーションまるぼうろ作り」
9:30~14:30,参加費 700円+実費
- 5/18(日)「ゲーム」
13:00~15:00,参加費 400円
- 5/24(日)「フラワーアレンジメント&書道」
9:30~14:30,参加費ひとり 1000円+実費
※フラワーのみ 10:30~11:30,参加費 500円+実費
※書道のみ 13:00~14:00,参加費 600円
- 5/25(日)「佐賀太良周辺散策②」
受付終了